

店舗探訪

浅野川店の 取り組み

薬局は、患者様が自ら出向いて薬を受け取る場所。そのイメージを覆すのが、在宅特化型の浅野川店です。対応件数の9割が、「薬剤師が患者様に薬を届ける」という業務で占められています。店頭での患者様の対応を最優先にしながら、訪問という形で薬剤師の社会貢献を拡げる、仕事の在り方を紹介していただきました。



【店舗の強み】

身近で頼れる薬局

当店は医療機関から送られてくる処方箋を確認し、薬を準備して利用者様のご自宅や介護施設に届けるという、訪問業務が主軸となっています。「来局（外来）」と「訪問」の件数割合は、「1：9」です。

外来で来局される方の85%は半径2km以内にお住まいになっています。

【地域の特性や需要】

薬を届けることプラスアルファのお手伝い

大雪の際の訪問にはひと苦労します。高齢の方や、身動きの取れない方に薬を届けるために、車から患者様のご自宅玄関口まで雪かきをすることもあります。

何度も通わせていただき、利用者様と関係性ができると、ちょっとした頼まれごとをされることも。あくまで本来の業務優先ですが、時にはスマートフォンや家電の使い方の相談を受けたり、世間話をしたりと、薬や体調に関すること以外の部分で可能な限りは対応しています。



浅野川店
薬局長（管理薬剤師）

T さん

【地域に愛される店舗になるために】

訪問業務がメインであるため、患者様やその家族、医療機関はもちろん、訪問看護のスタッフや介護施設の方とも連携がしっかり取れています。薬局および薬剤師の新しい社会貢献の形を模索することができていると言えます。



＼今後の目標／

本来の薬局としての業務遂行と、訪問業務のブラッシュアップ

当店は周辺環境の変化にも対応しながら、店舗業務と訪問業務の両方を維持して発展させていきます。まずは従来の薬局として、ご利用いただいている患者様を大切にしていかなければなりません。また、訪問業務については、制度が整備されて取り組みやすくなることを願っています。また、夜間や休日の対応が不可欠であり、従業員の休みやプライベートの確保などの課題はあります。会社と相談し、身体的にも精神的にも従業員のケアをしながら、働きやすく改善していくことが目標です。

